

『能動的に活動に関わる楽しさ』～セルラスを始めて自分が変わった！～

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」第 32 号

いよいよ明日から、セルラス青少年サマーキャンプが3泊4日で始まります。

うちの息子は、正直今までサマーキャンプにあまり前向きではなかったのですが、韓国ホームステイと一緒にいった関西メンバーとの再会という楽しみもあり、思いのほか今年は前向きになっています。

といっても、昨日遅く帰省先から帰ってきたのでまだ具体的に準備できてないのですが(^_^;)

夏前にはホームシックが心配でキャンプ参加を見合わせようかと悩んだようですが、成長したものです。

先日青少年の準備会に参加しましたが、みんな留学生の国のことを調べていたり、多言語でCDの場面を表現していたり、積極的に発言していました。

終わって帰ってきたときの、みんなの感想が楽しみです。大人も置いていかれないようしないと(^_^)

◇◇セルラスを始めて自分が変わった！◇◇

セルラスをやるとやらないとでは、見えてくる世界が違う！

今回は、4月に入会して活動を楽しんでいる、鈴木さんの新入会アンケートをご紹介します。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラス メルマガ』第32号の目次です。

【目次】

≪1≫ 能動的に活動に関わる楽しさ ～セルラスを始めて自分が変わった！～

世田谷区在住 鈴木さん

≪2≫ セルラス インフォメーション

≪1≫ 能動的に活動に関わる楽しさ ～セルラスを始めて自分が変わった！～

世田谷区在住 鈴木さん 家族構成:夫・娘(小2)・息子(年長)

Q1. なぜ、セミナーを聞きに行こうと思いましたか？

子どもたちが、個人レッスンの英語教室に通っていました。レッスンはゲームなどを取り入れ楽しかったけど、詰め込み式で、だんだんと子どもたちが嫌がるようになってしまいました。

私自身も英語は嫌いだったので、無理強いさせることはできないと思っていました。毎回行くのを嫌がるので、連れていくのも大変でした。

楽しく学べるところがないかと探していたら、学校からのチラシにセルラスのセミナーが入っていて、楽しそうな雰囲気には惹かれました。

写っているホームステイの写真などを見て、笑顔がステキだと思いました。こんな風に楽しく学べたらいい

いな。せめて英語に対して、「嫌じゃない」くらいにしてから今の英語教室は辞めさせたいと思い、セミナーを聞いてみようと思いました。

Q2. セミナーを聞いて、体験会(オープンセルラス)に行ってみようと思った決め手はなんですか？

今までの教育方法と違って、赤ちゃんが母語を覚えるように自然に学んでいく方法。ことばをリズムとメロディーで覚えていく、というところが、今までと全然違うと思いました。これなら英語の嫌いだった私も楽しいかも、と思い、とても共感しました。会員の体験談も、身近に感じました。

最初、変な宗教なのでは？とそこが心配でした。でもセミナーの手伝いの人たちが、みんな目を見て挨拶してくれるし、とても感じが良かったんです。

その時私は人を見ていたんだと思いますが、こういう人たちの作る環境なら、こういう人たちに囲まれるなら、きっと子供にとってもいいだろうと思い、行ってみようと思いました。

世間でよく言う、外国人のネイティブ講師がいるとかいないとか、そういうことは気になりませんでした。

Q3. 体験会后、入会しようと思ったのはどんなことからですか？

体験会のころインフルエンザなどが流行っていました。1回目の体験の時に娘が熱を出していたので、息子と二人で参加しました。

行きたくないと嫌がったのに、半ば強引に自転車に乗せたので、来るまでの間に背中をたたかれながら来ました。

また、オープンセルラスの部屋の入り口で入ることを嫌がり、私に引きずられて部屋の中に入り、「いやだって言ったのに！」と私を蹴ったりしていました。

子供たちの多言語でのあいさつやクイズから始まったオープンセルラス(体験会)は自由な雰囲気でした。「以前は人前で話す緊張して涙が勝手に出てくるが多かったのに、人前で話すことができるようになった」と自分の気持ちを立派に話してくれた小学生のお兄ちゃんの体験談に感動しました。

子供タイムと大人タイムに分かれるときに、お話をしてくれたお兄ちゃんが誘ってくれたので、息子も嫌がらずに子供たちの中に入りました。

子供たちはゲームをやっていましたが、とても楽しそうでした。

家に帰った息子は、姉に、「めっちゃ楽しかった。」と言いました。

その翌週2回目の体験会に行くときには、今度は息子が熱を出し、娘と二人で参加しました。

弟から聞いていたので、娘は行くのも嫌がらず、オープンセルラスも楽しんでいました。

セルラスに来ている子供たちが、とてもキラキラしていて楽しんでいたので、うちの子供たちもそんな風になってほしいな、子供たちに合うのではと思い、入会を決めました。

Q4. 入会して、今の感想とこれからの活動への期待はなんですか？

今までは、単語を覚えて文法を学習して、発音を練習して、という感じでしたが、今は全く違います。

自分からつかみ取って、子供と一緒に考えて、やっていく。ピアザでみんなに言ってみて、その反応をもらって、また考える。

ピアザは学んだことをすぐやってみる場であり、これがとても面白いと感じています。

毎回何かしらハツとするポイントがあって、それは誰かの一言だったり、行動だったりします。セルラスに来ている個性豊かで優しい皆さんからいろいろ吸収できてうれしいんです。

最初はロールプレイで子どもたちが乗ってこなくてグダグダになるのが、ちょっと一時間もつたいないなあ~と思っていたんです。

でも、コーディネーターがピアザはみんなで一緒に作って行くところ、と言ってくれたので、試してみたい事が次々浮かんで来て、自分の子どもと一緒にアイデアを練っていくようになったら、次のピアザに行くのが待ち遠しくなりました。

受動的な立場から能動的にさせて貰える大きな器みたいなものがセルラスの魅力なのかも。

また、毎週人に会いに行くのも楽しみです。実はピアザは少し遠くて、自転車で30分くらいかかります。子供二人連れて、仕事終わって疲れているのにな、と思いつつ、誰々の顔を見たいな~とか、今日はこれを話したいな~と思ってウキウキして出かけている自分がいます。

このモチベーションは何なの？と自分でも正直驚いています。

毎週のピアザに加えてちょうどよくスーパーピアザ(ピアザを越えてメンバーが月1度集まり活動する場)や、ワンデイトリップ(留学生とペアになって街を散策)があったり、インプットしたことをアウトプットする場所があってとても面白いです。スリランカの留学生と一日楽しく過ごして異文化に触れたこともよい経験になっています。

もう少し、色々なイベントに参加したり、他のピアザにも遊びに行ってみたいです。毎週やっているスカイプシャドウイングもやってみたいと思っています。

セルラスの活動は単に毎週通う習い事ではなく、ピアザや色々なイベントを通してさまざまな人と出会い、子どもだけでなく、大人も人間的に成長できる場だなと思います。

スーパーピアザ、ワンデイトリップなども通常のピアザの意味を深く考えさせてもらう、フィードバックの場として、思いっきり楽しみながら活動を続けていきたいと思っています。

《2》 セルラス インフォメーション

◆ 2016年 多言語教育講演会・セミナーのお知らせ ◆

次回講演会・セミナーは、各地で10~11月頃に開催する予定です。開催が決まり次第、お知らせしていきます。

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育講演会・セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。